



新潟県の石

ヒスイと人とのかかわり

世界最古級のヒスイ文化

国内におけるヒスイの使用は約6,500年前に、加工はおよそ5,000年前にはじまります。縄文人は緑や白が入り混じった半透明なヒスイを「生命の象徴」と考え、大珠や勾玉などの装飾品を盛んに作りました。ヒスイは日本のみならず中国や台湾など東アジア諸国でも人気が高く、「東洋の宝石」とも呼ばれています。



約6,500年前に使用されたヒスイ製ハンマー



ヒスイ文化が栄えた長者ヶ原遺跡 (国の史跡・糸魚川市)

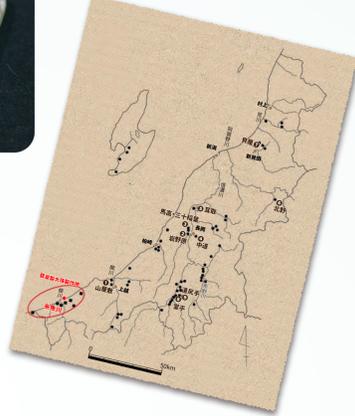


ヒスイ製大珠

国内の遺跡から出土するヒスイ製品は、すべて新潟県産なんだよ！



糸魚川ジオパーク マスコットキャラクター ジオまる



ヒスイの歴史

奈良時代(7世紀末)に編集された日本最古の歌集『万葉集』にヒスイを詠んだ和歌があります。

沼名河の底なる玉 求めて得し玉かも
拾ひて得し玉かも あたらしき君が 老ゆらく惜しも

「沼名河」は糸魚川市周辺の古い地名、「玉」はヒスイを表します。「君」は目上の人に対する敬称で、「沼名河の川底にあるヒスイのように得がたい貴方が老いていくのは残念でならない」という意味になります。

いにしへの時代から親しまれてきたヒスイですが、平安時代から昭和時代に至るまで約1,300年もの間、その存在すら忘れ去られてしまいます。急速に広まった仏教の影響ともいわれていますが、理由は明らかではありません。

昭和に入り、郷土の文人・相馬御風がヒスイ再発見に大きな役割を果たしたの！



糸魚川ジオパーク マスコットキャラクター めーな



奴奈川姫像(糸魚川市大町)



国天然記念物・青海川の硬玉産地(糸魚川市)



糸魚川ジオパークは、ヒスイを守りながら持続的に活用し、未来へ伝えていきます。

観光情報はこちらから
糸魚川市観光協会 ☎025-555-7344

